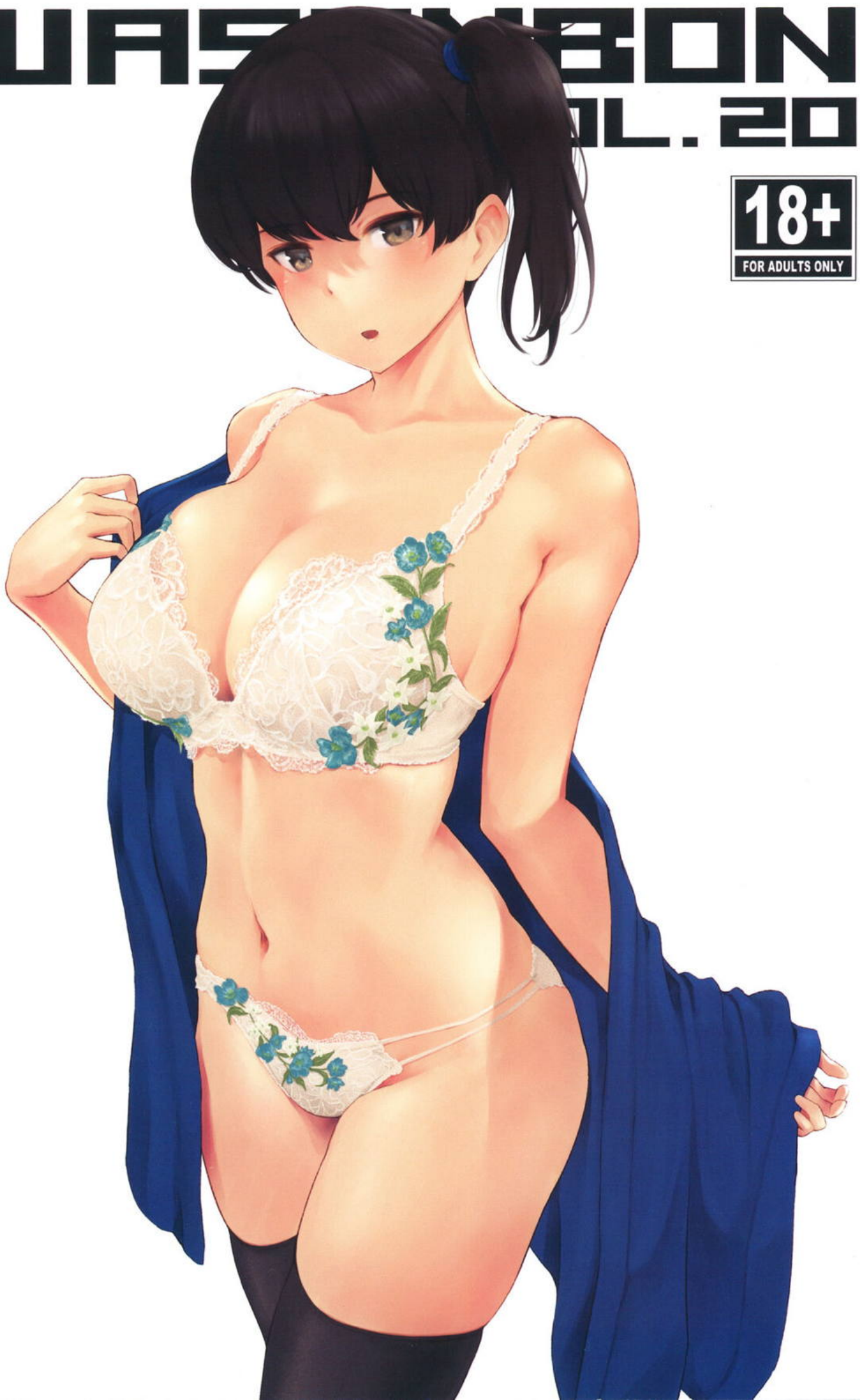
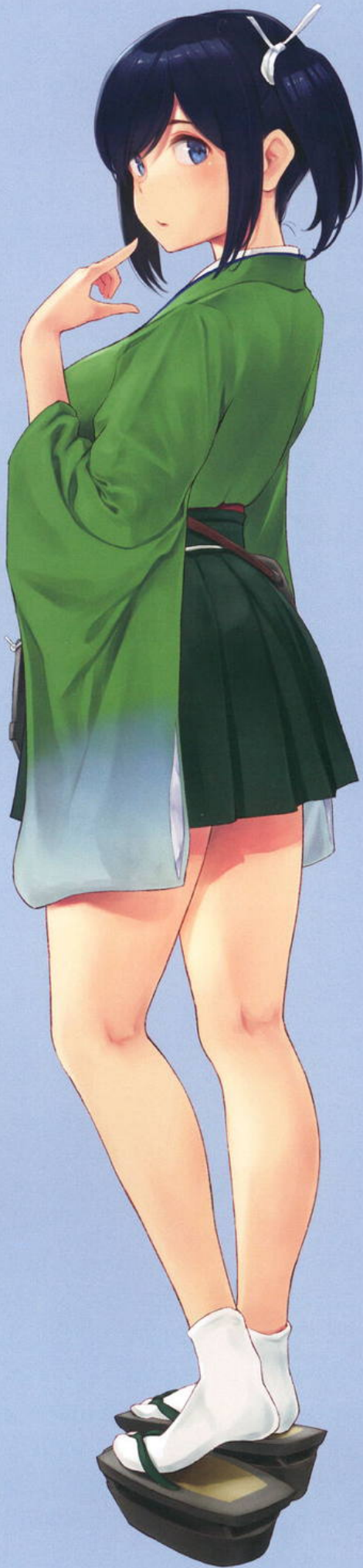


# WASABI MANGA

VOL. 20

**18+**  
FOR ADULTS ONLY







今回はノーマルな衣装に現代の下着を組み合わせたらどうだろうかという試みです。まずは加賀さん。清純さを思わせる白い下着に可憐な花の装飾が美しい。派手さを好まない、奥ゆかしい性格の表れか。



いかが…ですか？

ご命令とあらば  
お見せしますが…

下着姿…ですか

奥ゆかしく可憐な下着の下に隠された彼女のボディはゴージャスそのもの。恥じらう表情が実に良い。

最近少し太ってしまったので

あまり見ないで頂けると...

私の話...

聞いてますか？



ぬる

くちゅ くちゅ

生まれたままの姿になったところで秘部をまさぐると...おや、もう濡れてるじゃないの。加賀さん、エロいなあ。

準備万端であれば多少手荒に扱っても問題あるまい。クリトリスを指ではじいてやると、加賀さんの体がビクンと反応する。これだけで軽くイってしまったようだ。



あまりおあずけを食わせるのも悪いので速やかに本番へ。提督が挿入しようとする仕草に合わせて脚を開く加賀さん。この気遣い、まさに大和撫子よ。

きゅっと締まった腰を掴んで逃げられないよう固定し、表情の変化を見ながら腰を打ちつける。  
ペニスを受け入れると、普段の凛とした表情からただの女になってしまうこの瞬間が男冥利に尽きるのだ。



鍛えられた一航戦の体躯がもたらす膣の締め付けはすさまじく、提督はすぐにイってしまった。  
流し込んだ精液を味わうようにうねる肉壺とだらしのない加賀さんの表情がなんともいやらしい。

お次は赤城さん。ゴージャスな体にゴージャスな装飾の下着である。イメージ通りの下着をつけてくるのはある意味提督に対する気遣いなのかもしれない。



提督、  
お呼びでしょうか？



長い黒髪にでかいおっぱい。お姉さんって感じがたまりませんな。提督の視線を感じ少し恥ずかしそうにするさまが可愛い。



えーと・・・もう準備してもよろしいですか？

やっぱり少し恥ずかしいですね・・・

きやう

おんず

とりあえず乳を揉まねばという使命感からでかい乳を揉みしだく。いきなりの驚掴みで少しびっくりさせてしまった。

いたずらっ子をたしなめるように提督を仰向けに寝かせ、フェラチオでご奉仕する赤城さん。  
しかしこの体勢、揺れる乳と濡れた秘部を同時に観察できて誠に絶景である。股ぐらから漂う雌の匂いも実に心地良い。



はっはっはっ

はっはっはっ  
はっはっはっ

えーっと...

へっへっへっ...

いつもより  
大きくなってませんか？

はっはっはっ

こんな匂いをさせているのならば速やかに挿入せねばなるまい。腰を掴み自分で挿入するよう促すが、フェラチオにより過剰に血液が充填されてしまったペニスのサイズに赤城さんは少し驚いている様子。

覚悟を決めた赤城さん、提督のペニスに跨りゆっくりと腰を落とす。温かい肉壁がペニスを飲み込んでゆく。  
この感触だけで射精してしまいそうだ。



射精しそうなのを必死で堪えるも、快感に歪む赤城さんの表情を見てしまうと種付けせねばという雄の本能が働き素直に射精。今回の提督は若干早漏気味である。

お次は蒼龍。一航戦のお姉さまが身に着ける下着とは違い、一見すると水着のような、実にかわいいデザイン。

これ、水着っぽいから  
あまり恥ずかしくないんですよね

え？  
私の下着姿……ですか？



かわいい下着の下に隠されたボディは超弩級である。空母に超弩級という表現はいかがなものかという意見もあろうが、これを超弩級と言わず何と言う。

えっと…  
やっぱり…  
脱がなきゃ…ですよね

あの…

最近また  
おつきくなったみたいで…

あのー…  
あまり艦を揺らされますと…

モカ

モカ

まずはそのぶらさがった巨大な肉の塊をゆっくりねっぶり味わうとしよう。前戯は少ししつこいぐらいが丁度良いんですよ。



巨大な乳を眺めながら挿入するにはやはり正常位。最初はゆっくり浅く、徐々に深くペニスをねじ込んでゆく。しつこいようだが挿入する瞬間の雌の表情がたまらなく、イイ。

膣がペニスに馴染んだところで好き勝手に腰を打ちつけてやると、蒼龍の口から漏れ出る悦びの声が徐々に大きくなる。そうだ、もっと良い声で哭いてみる。



最後は当然のごとく膣内射精。子宮の一番奥まで精液が届くようにと腕を掴んで体を引き寄せ、腰を密着させる。と同時に蒼龍もイっつてしまったようで、うつろな表情で体を小刻みに震わせている。

最後は飛龍。元気いっぱいの彼女が身に付ける下着は、これまたイメージ通りのこれでもかと花を散らせた実にカラフルな下着である。



どおよ?  
なーんて...

しょうがないな

あはは、  
下着見せろだって?



スリムな体の割に意外とあるでしょうと言わんばかりのこの態度、実にけしからんな。確かにその通りではあるが。

えーとね、  
最近  
ちよつと成長したかなって

わっ

だめだったら  
そんないきなり…

自信満々な小娘に主導権を取られるのはまっぴらごめんなのでさっさと墜としてしまいましょう。

というわけでバックから挿入。余裕の表情はすぐに消え失せ、快感に顔をゆがませる飛龍。待てと言われても待たんわい。



さらに奥までペニスを挿入する為、脚を上げさせて腰を振る。飛龍といえばやはりこの太もも。細身で均整の取れた体型の空母には立ちバックが良く似合う。しかしこの締め付け、もはや辛抱たまらん。

そのまま立ちバックでフィニッシュ。例によって膣の奥まで精液を注ぎ込む為、腕を掴んで体を固定する。ドクンドクンと精液を注ぎ込む度に飛龍の体は弓なりになる。飛龍も同時に果ててしまったようだ。



奥 付

誌 名 : **WASANBON VOL.20**  
サークル : わさんぼん  
著 者 : wa  
発 行 月 : 2022年12月  
印 刷 : (株)サングループ 様

twitter : @washizutan2  
pixiv id : genryusui

本書は18歳未満の閲覧および  
画像の無断使用・無断転載を固く禁じる。

WORLD OF

+81  
FOR ADULTS ONLY

